

みなみかせ

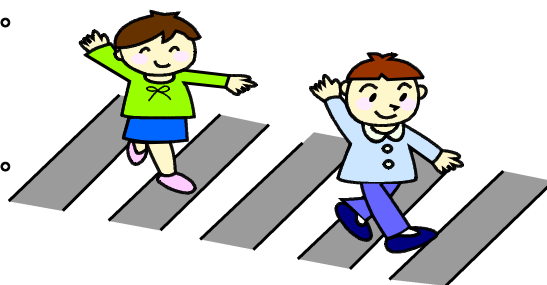
令和5年度学校教育目標

「ふるさとと人を愛し、自らの夢に向かって、力強く歩み続ける子どもの育成」

子どもたちに危険予測能力を

先週、とても冷やっとしたことがありました。朝の登校指導の時です。歩行者用信号が青になったので、子どもたちを渡し始めました。

その時、低学年の子どもが走って渡りました。そこに明らかに信号無視の車が突っ込んできました。本当にはねられそうでした。思わず「あぶない。」と大声で叫びました。何とかすれすれではねられることはなかったのですが、もしぶつかっていたらと思うと冷や汗が出ます。この件に関しては明らかに車の方がいけないのですが。



セミコンテクノパーク協議会の方に9月に通勤に関する要望書を提出してから、学校前の交通量はかなり減りました。以前は柳水公民館前の信号から西門前の横断歩道の先まで渋滞していることがありましたが、今は、学校前の信号まで渋滞することもかなり減ってきました。

その分、スピードを出す車が増えてきたように感じます。警察署の方に取り締まりのお願いもしましたが、実際に限定してすぐに行うのは難しいとのことでした。

子どもたち自身が気を付けて、危険を予測しながら回避する能力を育てていかなければと改めて思いました。以下は、先生たちに子どもたちに必ず指導してくださいとお願いした項目です。

ご家庭でもこういった内容について指導していただけるとありがたいです。よろしくお願いします。

ご家庭でもこういった内容について指導していただけるとありがたいです。よろしくお願いします。

①横断歩道を歩いても安心しない。

自分は気を付けていてもよそ見をしたり、今はスマホに気を取られている車がいったりするので油断しない。

②周りが見えにくいところから飛び出しをしない。

見えにくいからこそ車が来るかもしれないという危険予測能力を身に付ける。

③自分で必ず安全確認をする。右、左、右を自分の目で見て確かめてから渡る。